



# 第2回苫小牧市

## 多文化共生指針策定準備会議



# 会議資料

## 取り組みの現在地の共有

# 苫小牧市多文化共生指針策定に向けた流れ



背景：本市における在住外国人は、急増している。また、国籍・在留資格の多様化や人材不足の観点から働く外国人の増加が見られる。  
 目的：都市再生コンセプトプランを具現化し、本市の課題解決と成長戦略の一つとして、外国人材活躍社会の実現と地域の生活者として「日常的に」外国人と日本人が共生する社会のあり方を示した「苫小牧市多文化共生指針」を令和6年度に策定するもの。

R4  
年度

- 多文化共生事業の立ち上げ（国際化推進事業・都市再生講演会・北海道モデル事業・厚生労働省モデル事業など）
- 多文化共生に関する各調査（外国人雇用事業者向けアンケート及びヒアリング・北洋大学留学生向けアンケート）
- やさしい日本語・多言語による行政・生活情報誌作成事業
- その他（国際化推進事業公共サービス民間提案制度R5～7事業者決定・外国人相談窓口・日本語教室運営）

R5  
年度

ビジョン  
の策定  
(秋頃)

準備会議

- 検討内容
- ・ビジョン策定
  - ・アンケート
  - ・拠点機能

庁内連携会議

- 検討内容 (R4)
- ・庁内アンケート
  - ・職員アンケート
  - ・庁内勉強会
  - ・ビジョン策定

市民意識調査  
(日本人)

外国人住民  
アンケート

都市再生アドバイザー  
(有識者)の任命

- 依頼内容
- ・全体への助言
  - ・情報提供
  - ・コーディネート

拠点整備  
人材育成

- ・ニーズ調査
- ・機能の検討
- ・人材調査
- ・他市事例

国際化  
推進事業  
(R5～7)  
公共民間  
サービス  
提案制度

都市再生  
講演会

相談窓口  
日本語

その他  
事業

R6  
年度

指針  
の策定

検討会議  
(拡大)

- 検討内容
- ・指針策定
  - ・拠点・人材
  - ・推進体制

検討内容 (R5)

- ・庁内勉強会
- ・具体施策検討
- ・連携体制

策定方法決定  
(直営・委託)

パブリック  
コメント

議会報告・公表

都市再生アドバイザー  
(有識者)の任命

- 依頼内容
- ・全体への助言
  - ・情報提供
  - ・コーディネート

拠点整備  
人材育成

- ・設置した際の運営方法
- ・機能の決定
- ・人材整備
- ・他市事例

委託 ↔ 直営  
(連携)

- 国際交流サロン運営
- ・外国人相談窓口
- ・日本語教育

- 国際化推進事業
- ・多文化共生WS
- ・やさしい日本語WS
- ・避難所体験
- ・各種教室
- ・ボランティア（人材育成）

R7  
年度

指針  
の推進

推進会議

- 内容
- ・進捗評価
  - ・官民連携
  - ・新規事業提案

庁内推進会議

- 内容
- ・内部進捗評価
  - ・情報共有
  - ・新規事業提案

指針に基づく  
位置づけ

拠点整備  
人材育成

検討結果  
に基づく  
整備

# 全体のスケジュール



現在

	R5年度 (2023)												R6年度 (2024)
指針策定に向けた 事前整備事業	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
	会議設置	第1回 5/22		第2回 7/24			第3回 10月下旬				第4回 2月上旬		
指針策定準備会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員委嘱</li> <li>課題の共有</li> <li>取組の方向性の共有</li> <li>スケジュールの共有</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>多文化共生ビジョンの素案について</li> <li>多文化共生アンケート案について (外国人向け・日本人向け)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>多文化共生ビジョン案について</li> <li>多文化共生アンケートの現状報告</li> <li>多文化共生に関する拠点機能について</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>多文化共生アンケートの結果報告</li> <li>多文化共生指針の骨子案について</li> <li>令和6年度事業について</li> </ul>					
アンケート調査 (外国人住民向け)		先行調査	手法の検討 事務局案の決定		内容の決定 翻訳作業 対象世帯の抽出	アンケート配布 回収作業	翻訳・集計作業		現状・課題の分析				
アンケート調査 (日本人住民向け)		先行調査	手法の検討 事務局案の決定		内容の決定 対象世帯の抽出	アンケート配布 回収作業	集計作業		現状・課題の分析				
多文化共生ビジョン		先行調査	構成の検討 ビジョンの素案の作成	素案の修正作業 第3回会議に向けた案作成			ビジョン案 最終決定	議会 委員会報告	ビジョンの公表 啓発事業				
庁内会議	第1回 4/22 設置	第2回 5/22				第3回 (予定)					第4回 (予定)		
	多文化共生指針 策定について	外国人住民の現況 相談窓口・既存調査 からみる課題の共有			<ul style="list-style-type: none"> <li>多文化共生ビジョン案について</li> <li>多文化共生アンケートについて (外国人向け・日本人向け)</li> <li>庁内アンケート結果の共有</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>多文化共生アンケートの結果共有</li> <li>多文化共生指針の骨子案共有</li> <li>令和6年度事業について</li> </ul>			
庁内勉強会		第1回 管理職向け	「指針策定に向けて各課で取り 入れる視点について」				第2回予定 一般職向け	「検討中」					
その他	生活ガイドブック 完成・展開		庁内アンケート実施	拠点整備 に向けた先行調査				多文化共生指針骨子案検討作業		都市再生講演会 (多文化共生)			
			職員アンケート実施	次年度事業に向けた予算検討				次年度事業検討作業					
国際化推進事業 (予定)	ホームページ 公開		国際交流サロン LINE再構築	やさしい日本語 ワークショップ	避難所体験	オンライン 事業	冬のオリエン テーション			子ども向け ワークショップ	ボランティア 向け事業		
			英語・中国語教室										



# 会議資料

## 1. 苫小牧市の外国人の状況

～最新データの共有～

# 苫小牧市の外国人住民状況



- 外国人住民数 1,182人 (R5.6末)
- 人口の 約0.71%
- (市民の人口 167,399人)

外国人住民の推移 (令和5年)

	R4.12.31	R5.1.31	R5.2.28	R5.3.31	R5.4.30	R5.5.31	R5.6.30
市の人口	168,299	168,187	168,055	167,503	167,457	167,502	167,399
外国人住民数	1,019	1,027	1,028	1,037	1,102	1,163	1,182
外国人割合	0.61%	0.61%	0.61%	0.62%	0.66%	0.69%	0.71%

外国人住民の推移 (過去5年)

	H29.12.31	H30.12.31	R1.12.31	R2.12.31	R3.12.31	R4.12.31
市の人口	172,373	171,811	171,242	170,205	169,528	168,299
外国人住民数	527	595	723	821	833	1,019
外国人割合	0.31%	0.35%	0.42%	0.48%	0.49%	0.61%

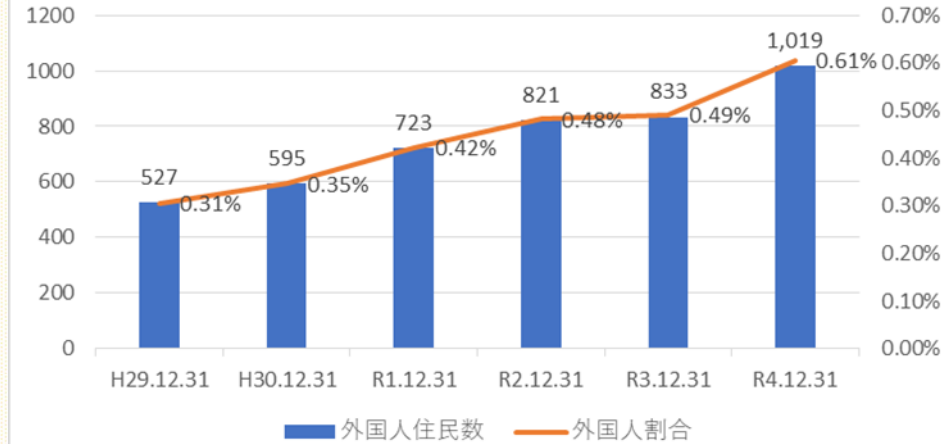
外国人割合の予測

予測 (苫小牧市)	2022年		2025年	2030年
外国人数	1,019	⇒	<u>1,705</u>	<u>4,021</u>
外国人割合	0.61%	⇒	<u>1.02%</u>	<u>2.41%</u>

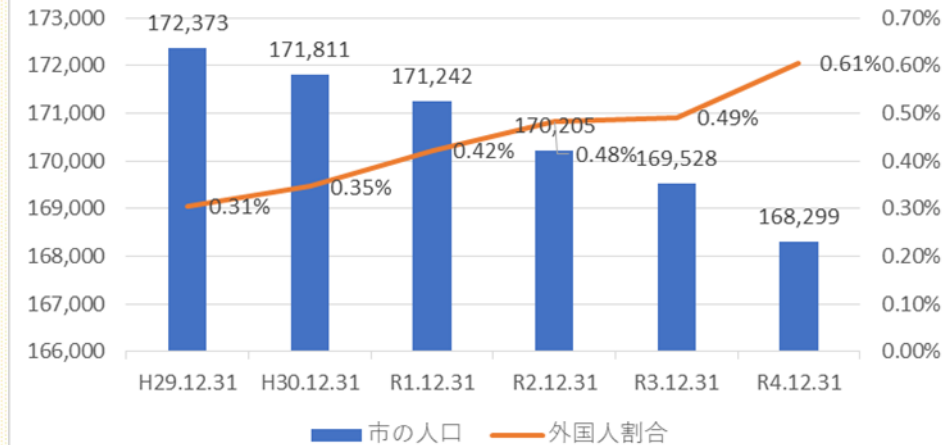
2017~2022年の前年比増加率：平均19%増が続いた場合の予測値

(コロナ禍の影響が大きい2019~2021年のデータを除く)

苫小牧市外国人住民数と割合の推移



苫小牧市人口と外国人割合の推移



# 北海道内の外国人住民の状況（令和5年6月末日）



人口順			外国人住民数順			外国人割合順		
1	札幌市	1,959,838	1	札幌市	16,657	1	占冠村	23.61%
2	旭川市	321,972	2	函館市	1,455	2	赤井川村	12.86%
3	函館市	241,936	3	旭川市	1,413	3	留寿都村	9.53%
4	<u>苫小牧市</u>	<u>167,398</u>	4	<u>苫小牧市</u>	<u>1,181</u>	4	ニセコ町	8.09%
5	帯広市	163,131	5	帯広市	1,123	5	猿払村	7.60%
6	釧路市	158,807	6	釧路市	1,059	6	雄武町	6.52%
7	江別市	118,785	7	千歳市	988	7	東川町	6.02%
8	北見市	112,196	8	江別市	881	8	倶知安町	5.79%
9	小樽市	107,514	9	倶知安町	846	9	仁木町	5.61%
10	千歳市	97,866	10	小樽市	795	10	佐呂間町	5.10%
							<u>苫小牧市</u>	<u>0.71%</u>

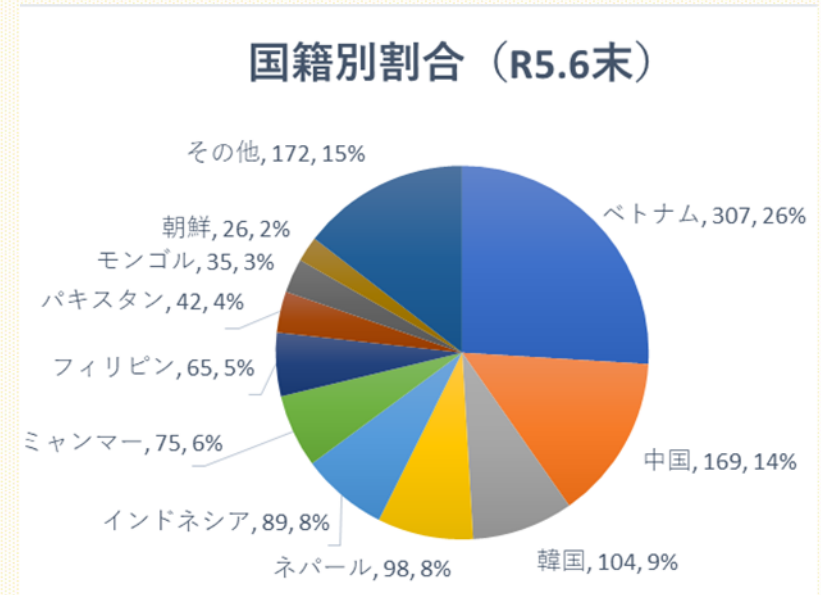
「この情報は北海道のオープンデータを改変して利用しています」

- 外国人住民数や割合は地域によってばらつきがある
- 苫小牧市は外国人住民数で全道上位であるが、割合としては低い

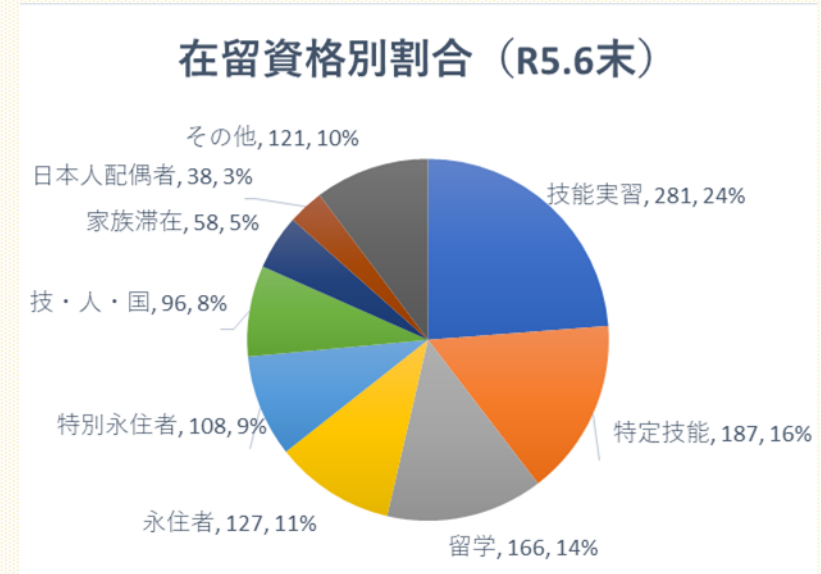
# 苫小牧市の外国人住民の推移（国籍別・在留資格別）



国籍別	R4.12.31	R5.1.31	R5.2.28	R5.3.31	R5.4.30	R5.5.31	R5.6.30
ベトナム	293	291	294	286	312	312	307
中国	161	160	161	167	170	169	169
韓国	104	104	103	103	104	104	104
ネパール	39	40	40	40	51	84	98
インドネシア	71	81	78	76	76	86	89
ミャンマー	45	45	47	54	65	68	75
フィリピン	63	64	60	62	63	64	65
パキスタン	38	40	40	38	39	41	42
モンゴル	37	34	33	32	32	35	35
朝鮮	27	27	27	27	27	26	26
その他	141	141	145	152	163	174	172
計	1,019	1,027	1,028	1,037	1,102	1,163	1,182



在留資格別	R4.12.31	R5.1.31	R5.2.28	R5.3.31	R5.4.30	R5.5.31	R5.6.30
技能実習	261	253	247	240	249	262	281
特定技能	150	168	170	178	183	183	187
留学	71	68	68	67	98	146	166
永住者	128	128	128	131	129	128	127
特別永住者	107	107	108	108	109	108	108
技・人・国	86	87	88	95	95	93	96
家族滞在	62	61	64	59	61	63	58
日本人配偶者	37	36	37	36	37	37	38
その他	117	119	118	123	141	143	121
計	1,019	1,027	1,028	1,037	1,102	1,163	1,182





# 苫小牧市の外国人住民の特徴（国籍×在留資格）



	R5.6.30	主な在留資格（10名以上）
ベトナム	307	技能実習183 特定技能85 特定活動12
中国	169	留学60 永住者49 技・人・国15 家族滞在11
韓国	104	特別永住者82 永住者14
ネパール	98	留学61 家族滞在16
インドネシア	89	特定技能51 技能実習24
ミャンマー	75	特定技能35 技能実習21
フィリピン	65	技能実習21 永住者19
パキスタン	42	家族滞在18 技・人・国14
モンゴル	35	技能実習24
朝鮮	26	特別永住者26
その他	172	
計	1,182	

## 【国籍別に見た在留資格】

・国籍により在留資格の特徴は様々である

	R5.6.30	主な国籍（10名以上）
技能実習	281	ベトナム183 モンゴル・インドネシア各24 フィリピン・ミャンマー各21
特定技能	187	ベトナム85 インドネシア51 ミャンマー35
留学	166	中国60 ネパール61 スリランカ12
永住者	127	中国49 フィリピン19 韓国14
特別永住者	108	韓国82 朝鮮26
技・人・国	96	中国15 パキスタン14
家族滞在	58	パキスタン18 ネパール16 中国11
日本人配偶者	38	
その他	121	
計	1,163	

## 【在留資格別に見た国籍】

・技能実習・特定技能が多い  
⇒まだ単身者が多いフェーズ



今後、家族滞在も含め多様な在留の形が想定



# 会議資料

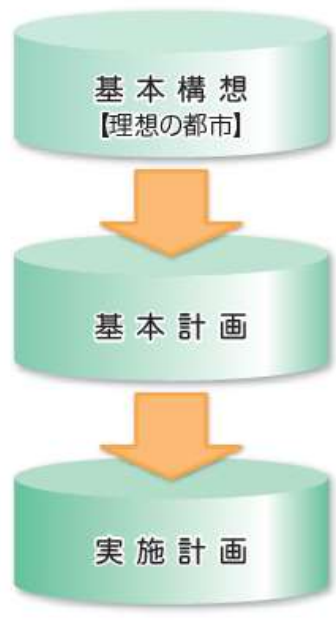
## 2. 苫小牧市多文化共生ビジョン

(案) について



## 本市の理想の都市：人間環境都市

「人間環境都市」は、人間主体のまちであり、豊かな自然と調和した文化の薫り高く潤いのある快適な生活環境の中で、共に生き生きと心豊かに暮らしながら、全ての市民が持てる能力で社会に貢献し、未来に向かって挑戦し続けるまちです。



苫小牧市基本構想：平成30年度～令和9年度

第7次苫小牧市基本計画：令和5年度～令和9年度  
～ 未来に向かって挑戦し続けるまちづくり ～

各個別計画

苫小牧市多文化共生ビジョン  
令和5年〇月 策定（予定）

苫小牧市多文化共生指針  
令和7年度～令和〇年度

# 多文化共生ビジョン・指針の位置づけ（総合計画との整合性）

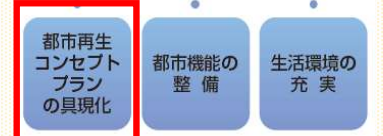


基本構想に基づく基本施策



ビジョン・指針の位置づけ  
重点プロジェクトの一つとして  
各分野の施策に横串を指すもの

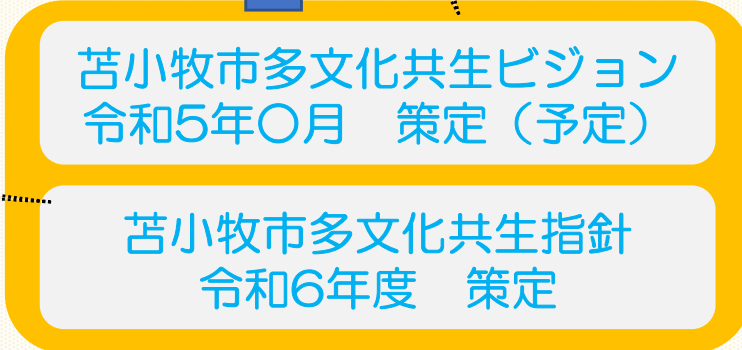
重点プロジェクト



ビジョン・指針の位置づけ  
個別計画として掘り下げ、市の方向性を定めるもの

- 基本施策24  
国際・国内交流の推進
- 国際交流の推進
  - 多文化共生と異文化理解の推進
  - 国内交流の推進

部門別計画



【計画の位置づけ】部門別計画  
第3 学んぶ喜びがあふれる文化の薫るまち  
②人が輝き文化の薫るまちづくりの推進  
基本施策24 国際・国内交流の推進  
2 多文化共生と異文化理解の推進



## 【多文化共生ビジョンとは】

苫小牧市多文化共生指針策定に先立ち、本市において、誰もが国籍や文化的背景に関わらず、地域の未来を創る一員として、共生できるまちづくりの基本的な考え方と方向性を示し、発信するもの。

## 【ビジョンのターゲット】

10年先を目安とし、理想の将来像に向けての取り組みを示す。

## 【ビジョンの主体者】

主体者は市民であり、基本的な文言の主語は「私たち」とする。

企業・学校・地域・行政など全市民に役割があり、今後の取り組みのベースとなる。



イメージ：詳細は指針で示すため様々な要素を盛り込み、総合計画をはじめ、市の各種計画と整合性を図りながら、市の大きな方向性を示すもの

## スケジュール（案）

7月24日（本日）	<ul style="list-style-type: none"><li>第2回準備会議にビジョンの素案・イメージの提示</li><li>構成・盛り込む内容・要素について意見交換</li></ul>
8月～9月	<ul style="list-style-type: none"><li>第2回準備会議の意見交換を踏まえ、再構成</li><li>第3回庁内会議に提示し、ビジョン案を決定</li></ul>
10月下旬	<ul style="list-style-type: none"><li>ビジョン案を第3回準備会議に提示し、意見交換</li><li>ビジョンの完成</li></ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"><li>12月議会において委員会報告</li></ul>
1～2月	<ul style="list-style-type: none"><li>ビジョンの公表と普及啓発</li></ul>

※ビジョンは、やさしい日本語や多言語版の作成を検討し、公表に合わせ多文化共生講演会の実施など、より多くの市民へ向けた普及啓発方法の検討を行う。



## 【理念】

～案をベースに組み合わせ、議論いただきたい 【別紙資料に案を複数掲載】～

⇒本市の特徴を踏まえ、未来に向けた分かりやすいキャッチフレーズとする

## 【基本方針】

本市のまちの特徴や在住外国人の特徴・課題を踏まえ、4つのカテゴリーに整理する。

また各カテゴリーの頭に相互理解・対等な関係性を示す「ともに」をつけ、サブタイトルで補足する

カテゴリー	サブタイトル	多文化共生に関する本市の特徴・課題
ともに働く	人とまちが成長する産業拠点都市	在住外国人の約4割が技能実習・特定技能であり、地域産業の人材不足が深刻 留学生が1割を超え、増加しているが、卒業後の定着が課題
ともに暮らす	住み続けたい地域づくり	在住外国人の在留資格・国籍の多様化、市内全域に散在 地域における外国人の受入体制整備・相互理解
ともに輝く	主体性を持ち、活躍できる人材育成	地域日本語教育・相談の拠点のニーズ 担い手の育成・外国人住民の活躍の場
ともにつながる	魅力づくりと賑わいづくり	交流人口の増加に向けた情報発信 生活の充実や地域の愛着につながるコンテンツの創出

# 苫小牧市多文化共生ビジョンの基本方針①



## 【基本方針】 ともに働く ～人とまちが成長する産業拠点都市～

- ・ 私たちは、未来に向かって、多様な人材を受入れ、ともに育ち、活躍する場を作ります
- ・ 私たちは、世界とつながる海と空の港をいかし、多様な力を集結させて新たな挑戦を続けます

### 総合計画の部門

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 明日を拓く力みなぎる産業のまち</li> <li>・ 地域の特性をいかした産業の振興</li> <li>・ 産業基盤の整備促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゼロカーボンシティへの挑戦</li> <li>・ 産業部門の挑戦</li> <li>・ 家庭・業務部門の挑戦</li> <li>・ 運輸部門への挑戦</li> <li>・ 官民協働による再生可能エネルギー導入を促す仕組みづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産業都市としてのさらなる飛躍</li> <li>・ 産業競争力の強化</li> <li>・ 安定した雇用の確保</li> <li>・ デジタル化の推進と新しい働き方の導入</li> </ul>
---	---	---

### 項目

### 項目ごとの関連要素

1	グローバル人材の受入環境／グローバル人材の育成環境／留学生・若者への定着支援
2	成長産業の進出に伴う高度人材の受入環境／国際競争力確保に向けた人材受入／新たなチャレンジ（起業・創業）を支える環境／ゼロカーボンシティへの挑戦／企業誘致と産業基盤の整備（CCUS）／カーボンニュートラルポートへの取組





## 【基本方針】 ともに暮らす ～住み続けたい地域づくり～

- ・ 私たちは、多様な人が互いに理解し、自分らしい生活ができる地域づくりを進めます
- ・ 私たちは、どのライフステージでも、誰もが公平に安心して住み続けられるまちを目指します

### 総合計画の部門

#### 共に支え合い健やかに暮らすまち

- ・ 健康な暮らしの実現
- ・ 地域で支え合う福祉社会の形成

#### 安全・安心で快適に暮らすまち

- ・ 快適な生活環境の整備
- ・ 利便性の高い交通環境の整備
- ・ 安全・安心な市民生活の確保

### 項目

### 項目ごとの関連要素

- |   |   |
|---|---|
| 1 | 相互に連携し、支え合う地域づくり／必要なサービスが受けられ、心身ともに健康で生活できる環境づくり        |
| 2 | ライフステージに応じて、不安なく生活できる環境づくり／防災・医療・福祉・安全・防犯など生命と財産を守る取り組み |

# 苫小牧市多文化共生ビジョンの基本方針③



【基本方針】 ともに輝く ～主体性を持ち、活躍できる人材育成～

- ・ 私たちは、ルーツを認め合い、互いに成長する、人が輝くまちを育てます
- ・ 私たちは、グローバルな視野で、まちを愛し、多様な価値観を持つ子ども達を育てます

## 総合計画の部門

### 学ぶ喜びがあふれる文化の薫るまち

- ・ 次世代を担う人材育成と高等教育の充実
- ・ 人が輝き文化の薫るまちづくりの推進

### 自然と環境にやさしいまち

- ・ 自然と調和した快適環境の保全
- ・ 廃棄物の適正処理と資源循環型社会の実現

## 項目

## 項目ごとの関連要素

1

ライフステージに応じた様々な学びができる環境づくり／生涯にわたる学習機会の確保／スポーツ・文化芸術を通じた交流や機会の充実／異文化理解と多様性に富んだまちづくり

2

「生きる力を育む」教育内容と教育環境の向上／学校・家庭・地域の連携・協働／高等教育機関との連携による地域の人材育成／自然環境及び生物多様性の保全に向けた環境教育、人材育成

# 苫小牧市多文化共生ビジョンの基本方針④



## 【基本方針】 ともにつながる ～魅力づくりと賑わいづくり～

- ・ 私たちは、積極的に魅力を発信し、世界中から人・文化・情報を受入れます
- ・ 私たちは、地域の多様なネットワークを構築し、新たな魅力を創り、地域の活性化につなげます

### 総合計画の部門

#### 人が集まる魅力の創造

- ・ 都市再生コンセプトプランの具現化
- ・ 都市機能の整備
- ・ 生活環境の充実

#### 項目

#### 項目ごとの関連要素

1

交流人口の増加に向けて、様々な視点からの情報発信／地域の特徴を生かした交流の機会の創出／デジタル技術を活用したグローバル化

2

広域連携による価値向上／移住者増加につながる魅力の創造／多様な人材がつながり合うコンテンツの創出



## 会議資料

### 3. 在住外国人・日本人市民アンケート (案) について



## 【目的】

指針策定に向けて、現状把握や課題抽出、目標管理のための基礎的資料の収集を  
目的とする

## 【調査対象】

苫小牧市在住外国人 約1,000人

- ・ 令和5年8月1日時点で住民基本台帳に登録されている13歳以上の外国籍市民  
(特別永住者を除く) ※参考：5月1日時点で958人（外国人市民1,107人）

## 【調査期間】

令和5年9月中旬～10月中旬の2週間程度



## 【調査方法】

- ・案内は対象世帯へ郵送でQRコードのついた説明文（チラシ）と回答用紙を発送
- ・回答方法はオンラインもしくは紙での返信
- ・言語はやさしい日本語・英語・ベトナム語・中国語

次の言語は予算範囲で検討中（インドネシア語・ネパール語・ミャンマー語）

- ・該当者の母語とやさしい日本語を選定し封入

母語が翻訳対象外の場合はやさしい日本語と英語

- ・送付する封筒に送付同言語のシールで概要を記載



## 【その他協力依頼（案）】

また、下記の方法でQRコード付きチラシを送付し周知の協力依頼をする

- ・ 多文化共生指針策定準備会議の委員から所属団体へ周知
- ・ 留学生受入校（北洋大学・苫小牧高専・日本語学校）
- ・ 国際化推進事業にて周知
- ・ 国際交流サロン利用者への周知
- ・ ALTへの周知
- ・ 外国人雇用事業所アンケート（R4）回答企業への周知
- ・ その他関係機関への協力依頼



## 【目標回収率】

- ・ 25%（令和元年に本市で実施したアンケート回収率 10%）

## スケジュール（案）

7月24日（本日）	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 第2回準備会議にアンケート案の提示</li><li>・ 実施方法、設問項目について意見交換</li></ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 第2回準備会議の意見交換を踏まえ、項目決定</li><li>・ 該当世帯抽出、言語ごとの対象者整理</li><li>・ 翻訳作業、オンライン回答システム構築</li></ul>
9月上旬	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 印刷、封入作業</li></ul>
9月中旬	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 発送作業</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 回答期間（2週間程度）</li></ul>
10月～	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 第3回準備会議で進捗報告</li><li>・ 第4回準備会議で結果を報告し、指針骨子作業へ反映</li></ul>





## 【項目内容】

別添のとおり 全**42**項目 **89**問（最大） 基本的には選択式とする

・基本事項 **9**項目（**11**問）

（性別・年齢・国籍・住所・在留資格・言語・居住期間・滞在希望など）

・はたらく **5**項目（**9**問）

（稼働状況・職種・仕送状況・職場環境）

・くらす **8**項目（**27**問）

（住居状況・運転・移動手段・医療・災害・生活課題・情報・生活環境）

・まなぶ **10**項目（**25**問）

（日本語能力・活用状況・学習状況・学習環境・学習拠点・地域交流など）

・にぎわい **10**項目（**17**問）

（情報取得手段・拠点認知・拠点希望・市の魅力・情報発信・自由意見など）



## 【目的】

苫小牧市多文化共生指針策定に向けて、現状把握や課題抽出、目標管理のための基礎的資料の収集を目的とする（市民意識調査）

## 【調査対象】

苫小牧市在住日本人市民 2,000人

- ・ 令和5年8月1日時点で住民基本台帳に登録されている13歳以上の日本人市民
- 住民基本台帳から地域別に人口比から均等に年代・性別ごとに無作為抽出を行う

## 【調査期間】

令和5年9月中旬～10月中旬の2週間程度



## 【調査方法】

- ・案内は対象世帯へ郵送でQRコードのついた説明文（チラシ）と回答用紙を発送
- ・回答方法はオンラインもしくは紙での返信

## 【目標回収率】

- ・30%（総合計画策定のためのアンケート回収率 34%）

## 【スケジュール（案）】

7月24日（本日）	<ul style="list-style-type: none"><li>・第2回準備会議にアンケート案の提示</li><li>・実施方法、設問項目について意見交換</li></ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"><li>・第2回準備会議の意見交換を踏まえ、項目決定</li><li>・該当世帯抽出、オンライン回答システム構築</li></ul>
9月上旬	<ul style="list-style-type: none"><li>・印刷、封入作業</li></ul>
9月中旬	<ul style="list-style-type: none"><li>・発送作業、回答期間（2週間程度）</li></ul>
10月～	<ul style="list-style-type: none"><li>・第3回準備会議で進捗報告</li><li>・第4回準備会議で結果を報告し、指針骨子作業へ反映</li></ul>



## 【項目内容】

別添のとおり 全**18**項目 35問（最大） 基本的には選択式とする

- ・ 基本事項 4項目（4問）

（性別・年齢・住所・コミュニケーション可能な言語）

- ・ 意識調査 6項目（13問）

（多文化共生に関する意識調査）

- ・ 交流状況調査 8項目（18問）

（外国人との交流経験、交流に向けた課題、本市の事業認知、多文化共生に向けた重点取組など）



# 会議資料

## 4. その他

(事業周知・次回開催予定)

# 多文化共生事業周知（国際化推進事業）



## 避難所体験（外国人と日本人）

- 目的：
- ・外国人住民に対する防災知識の提供
  - ・日本人住民の外国人の災害知識や文化の違いから生まれる課題理解
  - ・参加者同士の交流を促進し、地域住民の緩やかな関係構築

日時：令和5年8月27日（日）13:00～16:00

場所：苫小牧東小学校体育館

定員：100名（参加無料） ※要事前申込

見て、ふれて、楽しめる！  
地域住民交流イベント

とまチヨップも遊びに来よう！

みんなの参加費は無料

外国人と日本人がいっしょに学ぶ  
ひなんじょ たいけん

2023年  
**8月27日**（日曜日）

2022年の様子...  
動画で見ることが出来ます！

時間：午後1時スタート（4時終了予定）  
会場：苫小牧東小学校（体育館）  
住所：苫小牧市旭町1丁目7-10  
対象：だれでも参加できます（大人・子ども・日本人・外国人）

申し込み

第1弾告知！参加団体・実施内容（第2弾告知で追加団体をお知らせします）

苫小牧市	避難所グッズ・備品提供、消火器体験
札幌出入国在留管理局	札幌入管による簡易相談会
北海道国際交流・協力センター	災害時に必要な外国人のコミュニケーション
五国生活圏	災害ボランティアセンター
北洋大学	留学生ボランティアセッション
北海道多文化共生NET など	防災グッズの展示・作成体験

問い合わせ先 一社）北海道多文化共生NET TEL：080-8455-5512  
担当：五十嵐（いづらし） Mail：hkidmnet@hkidmnet.com

### 【昨年の様子】

- ・参加人数：48名 うち外国人24名  
（中国、フィリピン、モンゴル、インドネシア、ベトナム）



# 多文化共生事業周知（国際化推進事業）



外国人相談窓口ホームページ（英語・中国語・ベトナム語）

URL：<https://www.city-tomakomai-kokusai.jp/>

- 内容：
- ・ イベント情報
  - ・ みんなの生活ガイドブック
  - ・ 暮らしの動画
  - ・ 苫小牧市のスポット情報・拠点情報
  - ・ 外国人相談窓口LINEの情報 など



第3回苫小牧市多文化共生指針策定準備会議  
令和5年10月下旬開催予定  
※詳細は後日案内